

保護者・児童アンケート結果について

日頃より、本校の学校教育へのご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。2学期に実施したアンケートの結果がまとまりましたので、お知らせいたします。児童・保護者の皆様からいただいた回答・ご意見をもとに、今後の教育活動や指導の改善に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

1 保護者アンケート結果【回答数 238：（回答率：53%）】

4：そう思う 3：どちらかといえばそう思う 2：どちらかといえばそう思わない 1：そう思わない 0：分からない

番号	アンケート項目	（肯定的回答）		（否定的回答）		分からない
		4	3	2	1	0
1	お子さんは、自分が見付けた課題にすすんで学習に取り組んでいる。	26.9%	48.3%	16.8%	4.2%	3.8%
2	お子さんは、友達と協力しながら学びを深めたり、課題解決をしたりしている。	28.2%	55.9%	7.1%	2.9%	5.9%
3	お子さんは、家庭でドリルなどの宿題や Chrome book の課題等にしっかり取り組んでいる。	42.0%	40.3%	13.0%	4.6%	0%
4	（あなたは）教員が笑顔で子どもと接し、学校教育活動は生き生きとしていると感じている。	50.4%	43.3%	1.3%	1.3%	3.8%
5	お子さんは、思いやりのある行動ができる。	37.0%	58.9%	0.8%	0.4%	2.9%
6	お子さんは、安心して学校生活を過ごすことができている。	49.2%	44.1%	4.2%	0.8%	1.7%
7	お子さんは、自分の良さを言える。	21.0%	52.1%	18.5%	2.5%	5.9%
8	（あなたは）お子さんのことについて困ったことがあった時、教職員（学級担任やカウンセラー等）に相談している。またはもしも困った場合は教職員に相談できる環境にある。	48.3%	38.7%	4.6%	1.7%	6.7%
9	（あなたは）お子さんがこの地域（七小・七小のまわり・日野市）に対しての思いが深まったと感じられている。	45.0%	46.6%	1.7%	0.4%	6.3%
10	お子さんは、地域の行事や育成会行事などに参加するなど、地域とのふれあいを大切にしている。	16.4%	52.5%	16.8%	6.3%	8.0%
11	（あなたは）学校がコミュニティ・スクールとして、保護者・地域・企業・教育機関と協働した教育活動を行っていることを知っている。	31.1%	54.2%	5.9%	0.4%	8.4%
12	あなたは）学校教育活動のお手伝いをしたいと思っている。	16.0%	56.3%	13.4%	2.1%	12.2%

多くの項目において、肯定的回答をいただきましてありがとうございます。これからも、保護者の皆様にご支援・ご協力いただき、より良い教育活動をしていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。その他が多い項目につきましては分析・今後の課題等を回答いたします。

【2】「お子さんは、友達と協力しながら学びを深めたり、課題解決をしたりしている。」

本校では、今年度から UDL（学びのユニバーサルデザイン）を校内研究のテーマとして取り組んでいます。教員は、UDL の視点を取り入れた授業を行おうと定期的な話し合いと個人的な研究を行っています。児童が自らの学びや学び方を選べるように、また、友達と話し合いながら課題解決ができるような授業を展開できるように試行錯誤を続けています。これからも、今までのような一律一斉に指導する時間をできるだけ短くし、ICTを活用しながら児童が自立して学習できるように、指導力の向上に努めていきます。

【6】「お子さんは、安心して学校生活を過ごすことができている。」

【8】「（あなたは）お子さんのことについて困ったことがあった時、教職員（学級担任やカウンセラー等）に相談している。またはもしも困った場合は教職員に相談できる環境にある。」

6については、肯定的な回答が90%と高い評価になりました。また、8については、昨年度と比べると約20%も肯定的な回答が増えました。児童アンケート「学校で困った時に相談できる先生やカウンセラーさんがいる。」の項目においても、約80%超える肯定的な回答となりました。本校では、複数の教員が児童一人

一人を理解し、指導できるように、全学年で教科担任制、高学年で学年担任制を行っています。また、専科教員も副担任として各学年に配置しています。児童にとっては、複数の教員と関わることによって、相談しやすい教員を選べるのが安心につながっていると考えます。

なお、スクールカウンセラーとの相談を希望される場合は、担任もしくは養護教諭、副校長にご連絡ください。スクールカウンセラーは二人いて、毎週火曜日（9時から16時）と月2回金曜日（10時から15時）に相談を受けています。ぜひ、ご活用ください。

【11】「学校は、コミュニティ・スクールとして保護者・地域と協働した教育活動を行っている。」

昨年度より、委員の皆様は児童や学校の様子を観察いただいたり、毎月コミュニティ・スクール委員会を開催したり、学校と保護者と地域が協力して、児童のためにできることを協議してまいりました。今年度は、2学期に校舎前の花壇の整備（お花の植え替え）と3学期に放課後学習教室を行います。来年度は、遊具のペンキの塗り替えや放課後学習教室の充実、人材バンクづくり（保護者や地域の方を対象）を行っていく予定です。詳細については、学校のホーム&スクールを通して、コミュニティ・スクール委員会から発信をしてきます。学校ホームページ「コミュニティ・スクール委員会」もご覧ください。

2 保護者アンケートの自由意見について

一部となりますが全体に関わることにについて回答いたします。似たようなご意見のものは、代表として挙げさせていただいています。なお、学級・学年に関わることは、担任・学年主任に伝えてあります。

○教科担任制について

東京都では、専門性の高い教科指導や複数の教員による多面的・多角的な児童理解を行うために、専科教員を増員し、小学校高学年（5・6年）における教科担任制を推進しています。また、教員が教科を分担して授業を行うことで、授業準備の効率化や組織的な生活指導など、教員の負担軽減を図り、教育の質の向上も狙いとしています。また、令和10年度までの5年間で、12学級以上の全小学校へ導入する予定です。

本校では、上記の東京都の方針を受けて、令和5年度より導入しています。また、昨年度より高学年において学年担任制を行っています。「今の担任の先生はだれなのか?」「先生によってルールが違うことがある」「多くの先生に子供を見てもらって安心」「相談しやすい先生を選べる」などのご意見をいただきました。今後も児童・保護者の皆様の不安をできる限り解消できるように、取り組んでまいります。

○体験学習・たてわり班活動について

多くの方から、高評価をいただきました。その中で、「1年生のころから町探検などを通じて、日野市に興味をもち、一緒に出掛ける時はいろいろ教えてくれます。」「5年生の子が1年生の時に関わりがあったお姉さん（当時6年生）と偶然の再開があり、微笑ましい思い出ができています」と嬉しいコメントがありました。

本校は、日野中央公園や黒川清流公園などの自然環境、市立小中学校や日野台高校、実践女子大学などの教育機関、市役所や消防署などの官公庁など、教育活動が行いやすい環境に恵まれています。この良い環境を生かし、子供たちが地域から学び、地域とともに活動することで、自らすすんで地域社会に関わろうとする態度を育てることを目標にしています。また、たてわり班を地域ごとのまとまりでつくっており、学校だけでなく地域でもつながりをもてるように活動を推進しています。

今後も、学校が核となって、児童と地域がつながる教育機会をつくっていきたいと考えております。

4 児童アンケート結果

4：そう思う 3：どちらかといえばそう思う 2：どちらかといえばそう思わない 1：そう思わない 0：分からない

番号	質問	(肯定的回答)		(否定的回答)		分からない
		4	3	2	1	0
1	興味(きょうみ)をもったことや学習したいことにすすんで取り組むことができる。また取り組む方法を知っている。	44.8%	30.8%	6.8%	3.7%	13.8%
2	みんなと協力(きょうりょく)しながら(話し合いやグループワーク等)学習できている。	53.8%	28.4%	6.0%	3.9%	8.1%
3	家庭でドリルなどの宿題やクロームブックの課題にしっかり取り組んでいる。	48.0%	30.3%	6.8%	9.3%	5.6%
4	先生は笑顔で生き生きとしている。	63.2%	20.0%	6.1%	4.4%	6.3%
5	思いやりをもって友達に接している。	59.0%	26.8%	5.1%	2.1%	7.0%
6	自分も友達も、毎日、笑顔で過ごしている。	55.7%	25.7%	6.5%	3.9%	8.2%
7	自分にはいいところがあると思う。	47.1%	25.0%	4.9%	8.4%	14.5%
8	学校で困った時に相談できる先生やカウンセラーさんがいる。	64.6%	16.6%	4.6%	3.2%	11.0%
9	生活科・総合的な学習の時間の授業でゲストティーチャーの先生に教えてもらうことで、前よりも地域(七小・七小のまわり・日野市)のことが好きになった。	49.4%	29.1%	4.7%	4.2%	12.6%
10	わたしは、地域行事や育成会行事(ふれあいまつりやふれあいハイクなど)に参加している。または参加したいと思っている。	35.9%	26.8%	9.3%	12.4%	15.6%

2「みんなと協力(きょうりょく)しながら(話し合いやグループワーク等)学習できている。」は、82.2%と昨年度から若干向上しました。本校の児童は、協働的な学習に意欲的に取り組んでいると教員も実感しています。また、話し合いやグループワークを苦手としている児童に対しても、友達同士で助け合ったり話しだすのを待ってあげたりと、思いやりのある姿がよく見られます。今後も、学校ならではの対話を生かした学習を推進していきます。

3「思いやりをもって友達に接している。」は、昨年度の「学級活動、たてわり班活動、委員会活動などで、みんなのためによりよいことを考えて、行動することができている。」の質問と比べると、8%も向上し、85.8%でした。本校の特色であるたてわり班活動や協働的な学習、日常の生活を通して、自分自身が「思いやりをもって友達に接している。」と感ずることができていることは、とても嬉しく思います。今後も、児童同士が交流する機会の充実を図りながら、思いやりがある言動を褒めたたえ、自己肯定感を高めていきたいと思ひます。

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今後の教育活動にいかしてまいります。